

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)」、フォルダ「スポーツ科学部」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	本道 慎吾		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 4		
講義室	1007	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■DPコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP3-G (状況把握力・判断力) 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP4-F (探究力・課題解決力) 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I (理解力・分析力) 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP5-J (創造的挑戦力・達成力) コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p> <p>■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリック (CR) との関連</p> <p>F1 探求と論拠 (20%)</p> <p>G1 状況把握 (30%)</p> <p>I1 理解・分析と読解 (20%)</p> <p>I3 情報分析 (20%)</p> <p>J2 創造的思考 (10%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ~ 4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は、演習により行います。授業形態は演習形式により行います。なお、授業を補充・代替するためオンライン授業 (オンデマンド型・ライブ配信型) を取り入れます。</p> <p>■キーワード：研究、省察、反省的实践</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践</p> <p>■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループで研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。</p> <p>■授業のポイント 研究の進め方についてはスポーツ運動学の手法を用いて学習します。</p>		
総合到達目標	<p>■学習した内容を基に自身もしくはグループでの研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な分析方法や実験方法を選択し、それを選択した理由について説明することができる。</p> <p>・他者との議論を重ね、自身およびグループの研究テーマを検討することができる。(第1回~第10回)</p> <p>・スポーツ運動学における研究の進め方について明らかにしたい内容に応じて選択すべき方法などを説明することができる。(第11回~第15回)</p>		
成績評価方法	<p>■リアクションペーパー (30%)：適用ルーブリック：G1・J2 (評価の観点) 他者の発表や研究手法の情報に関する内容などの当該授業内容について授業終盤にリアクションペーパーの記載を行い記載内容の評価を行います。 (フィードバックの方法) リアクションペーパー提出後に授業内容の振り返りを行います。</p> <p>■プレゼンテーション (70%)：適用ルーブリック：F1・I1・I3・J2 (評価の観点) 自身またはグループの研究計画を発表し、その内容について評価を行います。 (フィードバックの方法) 各発表後に講評を行います。</p>		
履修条件	スポーツ運動学原論[SSCS1308]を履修していること。スポーツ運動学演習[SSCS3609]を履修すること。		
履修上の注意点	特にありません。		

授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 コーチング学研究法演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し、スポーツ運動学に関する研究領域やその研究方法について学習する（I1・3）。 ③予習（120分） コーチング学研究法演習の研究の概要に関する授業資料を読み返し整理しておくこと。 ④復習（120分） 自身およびグループでのゼミナールにおける課題に対する適切な研究方法について検討しておく。
	3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・3）。 ③予習（120分） 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究方法及び結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	4	①授業テーマ 文献研究② ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・3）。 ③予習（120分） 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究方法及び結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	5	①授業テーマ 文献研究③ ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・3）。 ③予習（120分） 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究方法及び結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	6	①授業テーマ 文献研究④ ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・3）。 ③予習（120分） 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身の選んだ文献の研究方法及び結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	7	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備① ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身もしくはグループの課題に即した研究計画に関する議論を行い、研究計画作成及びその発表に向けた準備を行う（F1、G1、I1・3、J2）。ここでは研究計画作成のための調査、実験、分析等を含む。 ③予習（120分） 文献研究で整理された情報を自身もしくはグループでの研究計画に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（120分） 議論を踏まえ、研究計画作成に必要な調査等に必要な情報を再度収集しておく。
	8	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備② ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身もしくはグループの課題に即した研究計画に関する議論を行い、研究計画作成及びその発表に向けた準備を行う（F1、G1、I1・3、J2）。ここでは研究計画作成のための調査、実験、分析等を含む。 ③予習（120分） 文献研究で整理された情報を自身もしくはグループでの研究計画に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（120分） 議論を踏まえ、研究計画作成に必要な調査等に必要な情報を再度収集しておく。
	9	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備③ ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身もしくはグループの課題に即した研究計画に関する議論を行い、研究計画作成及びその発表に向けた準備を行う（F1、G1、I1・3、J2）。ここでは研究計画作成のための調査、実験、分析等を含む。 ③予習（120分） 文献研究で整理された情報を自身もしくはグループでの研究計画に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（120分） 議論を踏まえ、研究計画作成に必要な調査等に必要な情報を再度収集しておく。
	10	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備④ ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身もしくはグループの課題に即した研究計画に関する議論を行い、研究計画作成及びその発表に向けた準備を行う（F1、G1、I1・3、J2）。ここでは研究計画作成のための調査、実験、分析等を含む。 ③予習（120分） 文献研究で整理された情報を自身もしくはグループでの研究計画に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（120分） 議論を踏まえ、研究計画作成に必要な調査等に必要な情報を再度収集しておく。
	11	①授業テーマ 研究計画発表① ②授業概要 自身もしくはグループの作成した研究計画について、発表を行う（F1、G1、I3、J2）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画発表の準備を行っておく。 ④復習（120分） 自身もしくはグループでの研究計画に対する課題について整理しておく。
	12	①授業テーマ 研究計画発表② ②授業概要 自身もしくはグループの作成した研究計画について、発表を行う（F1、G1、I3、J2）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画発表の準備を行っておく。 ④復習（120分） 自身もしくはグループでの研究計画に対する課題について整理しておく。
	13	①授業テーマ 研究計画発表③ ②授業概要 自身もしくはグループの作成した研究計画について、発表を行う（F1、G1、I3、J2）。

	<p>③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、研究計画発表の準備を行っておく。</p> <p>④復習（120分） 自身もしくはグループでの研究計画に対する課題について整理しておく。</p>
14	<p>①授業テーマ 研究計画の再検討</p> <p>②授業概要 研究計画発表を経て、他者の意見とのすり合わせを行い、研究計画をより充実した内容にするための議論を行う（F1、G1、I1・3、J2）。</p> <p>③予習（120分） これまでの研究計画における問題点を整理しておく。</p> <p>④復習（120分） 議論内容を踏まえ、再度研究計画の修正を行っておく。</p>
15	<p>①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ</p> <p>②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理する（F1、G1、I1・3、J2）。</p> <p>③予習（120分） 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。</p> <p>④復習（120分） ゼミナールⅡに向けて必要な文献の整理を行っておく。</p>
関連科目	コーチング学研究法演習（SSCS2317）
教科書	指定はありません。
参考書・参考URL	授業時に紹介します。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 授業時に連絡します。</p> <p>■オフィスアワー 授業時に連絡します。</p>
研究比率	

